

市内 3 大学の学生と習志野市長との意見交換会について

習志野市は、市制施行 60 周年となる平成 26 年において、立地、隣接する千葉工業大学、東邦大学、日本大学生産工学部の 3 大学とそれぞれ包括協定を締結し、これに基づき、各大学のご協力の下、11 月にそれぞれのキャンパスにおいて、学生と市長との意見交換会を実施しました。

1. 開催の目的

初めての試みであるこの意見交換会は、26 年度からスタートした基本構想に掲げた将来都市像を実現するための目標を支える重点プロジェクトのうちの一つ「協働型社会の構築」を実践するものとして、若い世代の意見を今後のまちづくりに反映することを目指して開催したものです。

一方、各大学側においても、今、地方公共団体や企業などと連携して地域ニーズを踏まえた教育研究を進めることによって、様々な取り組みを展開し、地域の発展に繋げていくことが大学の果たす社会的役割として重要と考えていただいている背景があります。このようなお互いの想いが一致する中で、今回の市側からの提案について、各大学が快く受け止めてくださり、実現することができました。

2. 学生から提案されたテーマ

実際に学生から提案されたテーマは以下のとおりです。

◆東邦大学【平成 26 年 11 月 8 日開催 於)習志野キャンパス理学部Ⅳ号館 2 階 4250・4260 教室】

発表学生 14 名、大学関係者 6 名、一般来場者約 20 名、市職員 10 名

- 夢が実際に叶うシステムづくり
- 多文化共生に向けて
- めざせ！ナラシ♪日本一 ～習志野子供集まる元気な街～
- 習志野市役所内に青活応援課(仮)をつくろう



◆千葉工業大学【平成 26 年 11 月 22 日開催 於)津田沼キャンパス 1 号館 20 階】

発表学生 22 名、大学関係者 6 名、他市関係者 6 名、一般来場者約 50 名、市職員 10 名

- 市民と千葉工大によるロボット特区
- 「埋め立て地の埋もれない想い」プロジェクト
- 袖ヶ浦団地再生計画
- 行政と市民による協働運営型まちづくりセンターの設置
- 安心と安全なまちづくり
- デザインと地域貢献
 - ・ 「地域ブランドのデザインとつだぬまーるについて」

- ・「様々な事例紹介を通じた地域と学生へのプロジェクトによる効果と可能性について」
- 習志野市の地域資源を活用した都市観光の現状と今後の方向性について
- 防災行政無線の新しいスピーカー設置方式の提案
- 習志野市コミュニケーションデザインセンター構想
- 千葉工大の特徴を生かした学生ボランティア
- 習志野市民のためのスポーツ健康振興施策
- 「千葉工大生による小中学生向け科学工作教室」の提案



◆日本大学生産工学部【平成 26 年 11 月 29 日開催 於）津田沼キャンパス 39 号館 6 階スプリングホール】

発表学生 11 名、大学関係者 8 名、一般来場者約 50 名、市職員 10 名

- インフラの老朽化とその維持管理について
- 習志野市の公共施設再編について
- 学生目線での自転車活用の提案
- 習志野市におけるインフラ老朽化の取り組みへの市民参加の可能性
- これからのまちづくりを習志野市と大学が共に考える



3. 総括及び今後の取組

学生ならではの視点を活かした各提案内容は、総じて素晴らしいものであり、今回の新たな取組は本市や大学側にとって大変有意義なものとなりました。習志野市としても、今回の提案発表を受けとめ、優れた提案については、次の段階に向け、展開を検討しているところです。

今後も、各大学と本市との間で強い連携が生まれるよう、さらにこの取組を発展させていきたいと考えています。